

## 会議の概要

会議の名称	令和7年度 第1回 三田市男女共同参画推進委員会
開催の日時	令和7年9月30日（火）10時00分～11時30分
開催の場所	三田市役所南分館 601AB 会議室
出席した附属機関等の委員の氏名	鶴田祥子会長、貫場恵子副会長、永井和浩委員、野間和美委員、小田中美穂委員、園田美恵子委員、寺井俊裕委員、原田康子委員、大塚明彦委員、梶木亮委員
出席した事務局職員の職及び氏名等	外岡健康福祉部長、鶴健康福祉部次長、橋本人権共生推進課長、河島人権共生推進課係長 本間人権共生推進課主任 [その他出席者] 人権・男女共同参画プラザ職員
議 事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 協議事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)第6次三田市男女共同参画計画の取組状況について</li> <li>(2)次回委員会開催について</li> <li>(3)令和8年度委員会開催について</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 資料1（第6次三田市男女共同参画計画「活動指標」シート）</li> <li>・ 資料2（第6次三田市男女共同参画計画「取組の方向」シート）</li> <li>・ 資料3（第6次三田市男女共同参画計画スケジュール）</li> <li>・ 計画書に記載されている部署名について</li> </ul>
会議の概要	第6次三田市男女共同参画計画の令和6年度の取組状況の報告を行い、委員の意見を求めた。
公開非公開の区分	公開
傍 聴 者 数	0名

## <議事概要>

### 1 開会

#### (1) 会議成立の確認

### 2 あいさつ

#### ・会議録の取扱いについて

発言内容は「要旨のみ掲載」、発言者氏名は「掲載しない」。

### 3 協議事項

#### ・第6次三田市男女共同参画計画の取組状況について

##### 【事務局】

資料1・2により、重点施策を中心に概要を説明。

##### 【会長】

今の点について、何か意見や質問はあるか。

##### 【委員】

資料2の取組の方向シートで「配偶者暴力相談支援センター」と表記すべき箇所が「配偶者暴力支援センター」となっているので、資料を訂正してほしい。

講座を実施しただけではなく、何が問題だったのか、指標に届いていない部分はどうすればできるのかという点を随所に織り込まれていれば良かったと思った。

こころの健康づくりに関する支援について、記載がプアである。スクールカウンセラーとの連携で何か行う等、重点施策として取り上げている割には内容が少ない。資料1の活動指標シートにも全く書かれていないように思えるので、今からメスを入れれば良いのではと思った。

##### 【会長】

今回活動指標シートに達成率が出ており見える化ができたので、次はどのように分析していくかということだと思う。

##### 【事務局】

資料作りについて、まだ踏み込んでいない部分があった。活動指標と評価指標を計画作成の時点で決めているので、活動指標シートにこころの健康の視点の指標を入れるのは難しいが、小中学校にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが設置されており、また自殺対策であれば学校向けに出前講座的なものを市と教育委員会で開催しているので、分かりやすく、そして見える化、それから課題についてどのように取り組む、といった点を事務局や他部署と調整しながら書き込むようにしたい。

##### 【事務局】

こころの健康作りについて、市民向けについては企業と同じ方法では難しいと感じている。悩みを抱える方が相談に乗れる窓口がまずは必要と考えているが、市民の皆さん方が少しでも助かるようなことに取り組んでいきたい。

**【会長】**

企業や学校と違って市民の方は年齢層が広いので、それぞれのライフステージに応じた対応が必要と思うので、整理して取り組んでほしい。

**【委員】**

デジタル人材のための講座等について、どの層にどのようなアプローチをしているのかの分析をしてほしい。社会的弱者の方が一歩踏み出せているかの分析もしてほしい。研修受講後、受講された方がどのような職に就かれ、どれぐらい社会で活躍されているのかについても分析していただけたら、様々な施策の方法になるかと思う。

管理職に占める女性の割合について、学校の先生は子育てしながら続けていくのは難しく辞める人がいることを多く聞く。今後は先生の割合を増やしていく政策を考えていただければと思う。

**【事務局】**

デジタル人材のための講座について、定員よりも多い申し込みがあったと聞いている。思っている年齢層と実際に参加される方とに少し差があることも聞いているので、開催後のフォローも含めて考えて行きたい。

市職員の管理職に占める女性の割合は少しずつ上がっているが、教職員については、いただいた意見を共有させていただく。

**【会長】**

研修の参加に踏み出すためにはフォローと、支援を広げていくことが必要と思う。前段階になるような取り組みをされているのか。

**【事務局】**

人権・男女共同参画プラザでは、講座研修以外に自分自身に振り返るような時間を持つための「おしゃべりサロンここから」の開催や、日々窓口で個別のフォローをしている。市民生活の中で起こっている女性の思いは窓口で様々なものを感じており、感じたことを講座に反映するという循環の作業をしている。

**【会長】**

個別に相談された方が講座に参加して、その結果としてこうなったということがあればより取り組みの効果を評価していけるのかと思う。

**【事務局】**

女性のための相談で受ける相談は、一歩踏み出せにくいような相談が非常に多く、同じ方から後日相談がある。その場合「おしゃべりサロンここから」を案内することがある。実際に行かれたかどうかフォローを拾い上げていきたい。

**【会長】**

数を全部カウントするのは難しいので、こういう事例があったということを残していけば、次に繋がると思う。

**【委員】**

活動指標シートのワークライフバランスについて、男性向けに講座を企画した時に男性が来てくれない。女性自身の意識改革も必要だが、パートナーの意識改革も必要。市として、たくさんの人が参加するための取り組みがあれば教えてほしい。

**【事務局】**

非常に悩んでいる。ポイント制の導入、開催日時、開催場所、申込方法の見直し等、色々考えているが、ベストな方法がない状況である。

**【会長】**

委員の皆さん、何かアイデアがあれば。

**【委員】**

私達の団体は男性向けの講座は開催していないが、参加は男性も女性もOKにしている。ただ、どのような方が知りたいので所属する団体があれば書いてもらっている。シングルマザーの居場所などでは、こういうイベントをやってほしい、と言われイベントを開催するが、実際には子どもの病気やご本人の体調などで来れなくなることもあります。

私達の団体は活動拠点があり、毎週木曜日にイベントをするようにしています。4月よりInstagramやホームページにあげるようにすると少しずつ問い合わせも入るようになってきた。単発というよりこの曜日には、第何曜日にはこれを開催していませんとする方が来やすいのではないかと感じている。

**【事務局】**

定期的な開催は一つの手法と思った。広報誌で案内をしているが集客は難しい。だからと言って開催しないという選択肢はない。講座を開催しながら考えていきたい。

**【副会長】**

他市から依頼を受けてセミナーを開催したことがあるが、日の設定は日曜日と祭日にした。50代の夫婦が中心、リタイア後の生活、年金、医療保険、両親の介護等で募集をしたところ、すぐ埋まった。一人だけでも夫婦だけでもOKとした。案内は市広報誌に載せたただけなので、テーマと曜日の設定、参加の間口を広げるとある程度集客は見込める。

**【会長】**

活動指標シートの中で回数というのがあるが、講座の参加者が少ないと実質目標未達成ということになるので、この点も含めて今後検討してほしい。

**【事務局】**

活動指標シートは、次回アンケートを取った際に、成果指標に達するように活動する意味合いで作っているのだから、いただいた意見を参考にしながら分かり易さや経過を考えてのシートの作り込みや、講座を開催したい。

**【会長】**

大変だと思うが、よろしくお願いします。

#### 【委員】

三田に店舗を構えて相談を受ける中で、男性が出てくる機会が少ないと感じていたのと同じ意見が出て良かった。私達は市民団体みたいな活動をしており、イベントを毎週のように開催している。意識していることは三田市内でも地域により状況が違うので、その中でいかにフィットしてくかを課題として活動をしている。

自分の店や関わりのあるところを良くしたいと活動しているが、大事なことは市主導ではなく、まちの人が進めていきたいと思うかが重要。このような会議では課題解決が主になるが、わくわく感が必要では。総合計画を読んで楽しいものにする等の工夫が必要。根本的な考え方から見直した方が良いと思う。

#### 【会長】

どう見せていくのか、どのような思いで進めていくのか、根本的なところを共有できる場所があれば良いものになると思った。

#### 【委員】

三田の女性の就業率の低さが計画のテーマの一つにあるが、私は地域課題だと思っていない。母親も家庭にいたが楽しそうに暮らしていた。女性の就業機会が低いのであれば問題であるが、就業率が低いのは悪いことと議論するのは危うい。反対にこれをチャンスと考え、働きに出ている人が少ないということは家庭にいる時間が多いので、子育て、家庭食の豊かさに繋がる。働いていない女性のポテンシャルを生かした盛り上げ、私の店では三田の家庭食を一番豊かにするというわくわくしたビジョンを掲げている。根本的なことを見つめ直す、押し付けず、チャンスかもしれないことを見せることが大事だと思う。

#### 【会長】

私も全く同感で、専業主婦であることは決して悪いことではない。自分の意思で選び、そこから発展したことをわくわくと考えていければ良いのかと思う。

#### 【委員】

市の広報誌すごく良いとは思いますが、わくわく感がない。女性の一步を踏み出すのを応援する記事でも活字だけでは目に付かない。外部の方をお願いしてわくわく感を出すとかして、課題として気付いていない人や諦めている人等にアプローチするようなわくわく感が得られるような広報誌にしてほしい。

#### 【事務局】

「人権さんだ」は人権共生推進課で編集しているので、今後の参考にさせていただく。

#### 【委員】

現時点では女性の困り事が多いと思うが、男性にもある。女性が働きたいのに働けないのか、違う分野で働きたいので働かないのかという考え方があるように、男性も働かざるを得ない状況となっていることもある。男女共同参画のテーマで話をしているので、男性と女性の区別なく議論していく必要があるのでは。男性が女性がというのではなく一人の

人格としてどうあるべきかの話になればと思う。

**【事務局】**

今回の資料について、女性の問題、男性の問題ではなく、人としての問題、誰もが選択できるようになればと考えながら作成した。

**【委員】**

私はダンスに通っているが、友達との話題といえば両親の介護や夫の介護の話ばかりであるが、一方でセミナーみたいなものがあり、話が聞ければいいなと言っている。何か講座みたいのがあれば教えてほしい。

**【会長】**

ニーズがまだあることを示していただいたと思うが。

**【事務局】**

市が実施するものは「広報さんだ」に掲載している。地域や団体が実施するものは市民センターに行けばチラシを貼っていると思う。市のホームページに掲載している箇所が分かれば伝える。

**【委員】**

昨年まで高齢者カレッジで学んでおり講義もあったが、将来設計や年金、健康、介護の話の聞いても遅い。介護の話はこどもの層が聞くのがいいと思う。一方、役に立つ話もあったので、PRの仕方によってまだまだニーズはある、工夫次第だと思う。

講座に参加される方は人脈があり色々な活動をされている人が多い。引きこもりの人等を救う方法はないのかと思う。

**【事務局】**

女性相談で話を聞いているが、私達の所管だけでは対応できないことは市全体で対応している。一歩踏み出していない人への支援を改めて考えていかなければならない。

**【事務局】**

介護予防や認知症のサポートといったセミナーは地域包括支援センターの他、社会福祉協議会や市でも企画しているので、情報提供させていただく。また、健康づくりのために40代、50代がターゲットと考えているが、企業側でどのような研修や講座をしているか掴めていない。70代、80代、90代まで健康に過ごしていただこうと思えば、40代や50代の人をターゲットにする課題意識を持っている。

引きこもりの方について、全国の調査では数値（割合）が示されており、それによると市内でもかなりの数になると思うが、実態が掴めていない。引きこもりの方をどうにかして社会参加、接点を取ろうと、地域福祉課を中心にして重層的な支援で情報を集め、どのようなアプローチができるのかを共有して関係機関が取り組みをしているところである。

男性への講座への参加について、退職は良い機会になるので、十分に活用できればと思う。わくわくする内容を加えて何か面白いことができないかと今聞いて感じた。また色々

とご意見を聞かせてもらいたい。

- ・次回委員会開催について
- ・令和8年度委員会開催について

【事務局】

資料3により説明。

【会長】

事務局より令和7年度の委員会開催は今回1回のみという提案があったが、何かご意見はあるか。特に意見がないようであれば提案の通りでよいか。

【委員】

はい。

【会長】

今年度の委員会の開催は今回1回の開催とする。今日の委員会で話のあった確認等必要な部分については、確認後に事務局より資料の方を送付いただくということとする。

#### 4 その他

【会長】

その他、全体を通して何かご意見や感想はあるか。

【委員】

男女共同参画計画、すごくいいと思っている。味深いことが多く、見える景色が変わった。もっと若い世代の方に読んでいただけるように楽しく自分事として捉える内容で伝え、その時には100%理解できないかもしれないが、頭の片隅にあって生きて行けば必ず見える景色が変わると思うので、若い人に参加してもらえるように取り組んでほしい。

【委員】

私も三田のイベントや講座に関わって気付くことであるが、何かやりたいという前向きに感じている女性がすごく多いと感じる。市主催のアントレプレナー(起業家)育成プログラムに参加したが1人を除いて女性であった。しかし審査員が全員男性であり、女性みんなが違和感を感じており、男女割合も参加者の層にあわせて変えていかないと伝わりにくいと感ずることがあったので、男女割合を考えた上で色々な企画を考えていただければ、参加する側も自分のパフォーマンスが良くなるのかと感じた。

【事務局】

男女の割合は常に市の中でも色々な場でその視点を持ちましよう、職員向けの男女共同参画の研修時に発信している。市役所だけではないとは思いますが、改めていただいた意見を共有させていただく。

【会長】

本日はたくさんの多岐にわたるご意見いただきましてありがとうございます。

## 5 閉会

次回、令和8年度春ごろを予定。